

実習について(感染対策及び準備品)

同行援護サービスの質を担保するために実習(実技)は必須であり、実施可能な感染防止策を講じた上で今回研修を実施します。しかし万が一感染者が出た場合、他の受講者も濃厚接触者になる可能性は避けられません。受講のリスクと実習内容・当センターの感染対策を予めご確認いただき、この状況下でも受講が必要かどうか、各事業所の判断でご参加ください。

また感染症対策を実効性あるものにするには参加者全員のご協力が欠かせません。何卒よろしくお願いいたします。

研修全般の感染症対策		受講者が準備するもの等
装備	* 講義・実技ともマスク(不織布が原則)着用 * 必要に応じてアイガードを着用する	不織布マスク ※アイガードは配布します
消毒	* 受講者が各自携帯スプレーで手指消毒を徹底する * 実習で接触する箇所(例:自動販売機)は、事務局が接触前後にできる限り消毒を行う	※携帯用消毒スプレー(業務用アルコール:商品名アルボナース)は全員へ配布しますが、アレルギー等で使用できない方は、代替品をご用意ください。
換気	* 両会場とも自動換気システムあり	室温については個別対応不可。各自温度調整ができる服装で。
健康チェック	* 初日・3日目に健康チェック票(別紙)提出 * 参加者全員が研修期間中は、家族も含め毎日検温等健康観察を行う。	事前連絡事項に該当する場合、必ず担当者へご相談下さい。 当センターで協議の結果、感染の恐れ・可能性があるかと判断した場合は受講をお断りする場合があります。予めご了承ください。

実習内容と感染症対策		受講者が準備するもの
実技	* 実技(手引き等)の際のペアの組換えは、万が一の濃厚接触者を増やさないため、1日1回を限度とする * 密になる場合は、2グループに分かれ別行動で実技を行う * ロービジョン体験器具等の使いまわしはせず1名に1個用意する * 手引きの際は安全を考え、視野が悪くなるアイガードの着用は強制しない	【服装】 長袖またはアームカバー着用 (直接肌が触れ合わないようなもの) 歩きやすい靴、両手が見える靴 、実技に支障がなければ手袋等も個人の判断で着用可。 天候によっては 防寒具・雨具 も準備。
	金銭取扱、代読等(2日目) * 個別に行い、ロールプレイは避ける	紙幣全種類(10000円、5000円、1000円) 硬貨全種類(500円、100円、50円、10円、5円、1円) 印鑑(シャチハタ不可)
乗降訓練	バス・レンタカー貸切乗降訓練(3日目) 路線バス実車・電車乗降訓練(4日目) * 事務局が必要箇所の消毒をできる範囲で行い、訓練終了後は必ず各自手指消毒をする。 * 公共交通機関利用にあたり、最大でも1チーム12名、講師2名、事務局1名体制で行う	小銭またはバスカード
食事体験 食事介助	(初日～3日目) * 食事をする際は飛沫防止パネルを設置 * 介助者はマスク・アイガード着用で行う * マスクのない状態では私語を控える * 食前には手洗い	* 全員同じ弁当を事務局が手配するので 初日に3日分の弁当代 1500円(浜田は1650円) を徴収 * 食物アレルギーがある方は申込書に記入欄あり * 4日目は各自昼食を準備

テキスト (別紙申込用紙で各自購入・当日持参)	同行援護従業者養成研修テキスト 第4版 (2021/11/5発行) 旧版での受講は不可。当日会場での販売ありません。 お忘れのないようお願いします。
-------------------------	--

ご不明な点はご連絡をお願いします。